



## Many answers を実感できる学生生活へ：安孫子理事長と河西学長による新春対談



河西邦人学長：安孫子理事長に初めてお目に掛かったのは2012年、今後の北海道の中小企業のあり方として参考になる企業を調査しようということで、理事長が経営されている江別製粉にうかがったのがきっかけだったと思います。江別製粉は今までにないイノベーションを起こして、地域活性化に繋がるという成功事例ですね。

例ですね。

安孫子建雄理事長：私も小麦粉を生産するという製粉業界は、日本中に大企業あり、中企業あり、小企業あり、それも中央にあったり、ローカルにあたりということで非常に幅が広く数が多いんですね。売る商品も例えば日清製粉が扱っている小麦粉の様々な銘柄と類似したものを大中小それぞれが作っています。それは原料の小麦を国が握っていたからなんです。要するに元の流れが決まっているので、過当な競争しないでやれるという状況があったんです。これはいいか悪いかは別にしても、戦後の食料難を脱却するために、国が作った制度の中でやってきました。ですからそういう市場でならまだ生きていけるなということがありました。でもこのままやっていたら将来スケールメリットの競争になって絶対負けちゃうし、仕事がいらなくなるというのが目に見えてきたので、じゃあ何をやるかっていうふうに考えた。

河西学長：スケールメリットの競争では中小企業が大企業との勝負に勝てないですね。それで小ロットの小麦粉を生産できる F-ship (エフシップ) ※を開発し、新たな市場を切り拓いた。そのきっかけは何ですか？

安孫子理事長：そんなとき、実際小麦粉を使って食べる人たちの消費者グループが「国産のものはないの」という。地産地消、安全安心志向ですね。国産に対する需要っていうのは少しずつ出てきたんですね。そういう人たちが私たちを評価してくれたんです。そのような消費者の方っていうのは全然ものの考え方が違うんで、安全安心、地産地消などいろいろとおっしゃる。これはマーケットに繋がるなっていうのは分かった。大企業ではやりませんから、中小企業の、特に小企業のところは地元と繋がっているんなことできるんじゃないかっていう可能性をそこで見つけたんですね。

※F-ship (エフシップ) 小型高度製粉システム

河西学長：それを大学業界に置き換えると大学も大規模から中小規模の大学まであって、しかも首都圏だけではなく、全国に点在しているという状況がある。しかし、国のいろいろな規制や指導があって、大学はある程度一律的にならざるを得ない。一方で受験生、そして大学を卒業した若い人たちを採用する企業等の就職先における大学教育に対するニーズの変化、この辺りで今までとはちょっと違った動きが出て来て、そこに本学もチャンスがあるかもしれないですね。

安孫子理事長：確におっしゃる通りです。デパートみたいな大学ももちろん必要なんだろうけど、私の感じる中では小学校、中学校、高校で学ぶレベルは違うけど、同じような仕組みですと教育していると、大学進学したときに、「なんで大学に行くの」「もしかしたら高校と同じものの考え方で教科が決まってる、それを選択して勉強してんじゃないの」という話になったときには先が見えちゃうんじゃないのっていうことで、大学卒業したときに何を身につけられるかって話になると、これではちょっと違うなと。高校終わって、次を選ぶには自分が何をしたいか、何を学ばかっていうことを基本にしてそこから進まなきゃならない。問題は高校から大学に入る時点での話なんだけど、本当は高校の段階で、自分はこういうふうにするんだと、こういうことに興味持っているんだとっていうことをどんどんトレーニングしていくのかな。大学はどういうところを選ぼうかと繋げてもらうのが大事なことだと思っているんです。

大学のランクという話の前に、どういう勉強ならあなたにあってるよ、あなたがやりたいことはあの大学にあるよ、先生もいますよっていうのが本当は前提ですよ。理想論みたいなこと言うけども、そういう選択ができる仕掛けができていかないと、日本の大学の勉強っていうのは、4年間で何を身につけたかという疑問に繋がる。現状は最初の動機があやふやというか、弱いんですね。

4年間っていうのはそういうことじゃなくて、自分のやりたいこと、見つけたいことを見つけて、そして研究したり勉強したり。大学での勉強の仕方、あるいは教えるっていうのはやっていかないと分からない。みんな一律のものの考え方になり、最後は就職試験やってね、その優劣で決まってしまうっていうのは、ちょっともったいない話だな。

河西学長：大学に入学する目的意識をどう動機づけていくか？ 大学の教育の魅力を高校生に伝えていく、それとも一方では本学でないと学べない、そういった独自の価値を本学の教育が提供しないとけないっていうのがあるんじゃないかなと思います。本学でないと学べない何か、それが本学にとって重要なビジョンになると思うんですが、その辺は理事長になられて、どんなものが本学独自の教育になり得るとお考えでしょうか。

安孫子理事長：そうですね。大学で一番肝心なのは、私は先生だと思っているんですよ。先生が「学生は何を感じてきたのか」「何を持ってきたのか」っていうことをお互いの思いを戦わせるってところから、それはこういうことを教えてあげたい、訓練し身につけさせたい、学生ももっとこういうことを聞きたいっていう、その相互交流ができて、そうすると、よその競争原理と違ったその世界で、その学生の能力向上に繋がるんじゃないかということなんです。

河西学長：そうしますと、まずは本学の教職員が、入学してきた学生達とコミュニケーションを取って「なぜこの大学に入学したのか」「何を学びたいのか」いわゆるニーズをしっかりとつかみ取る、理解をする。その上でどういう教育が必要なのか？ 理事長はこれからの時代にどんな教育が必要と考えますか？

安孫子理事長：私は大学で管理工学という理系でも文系的要素のある分野を専攻していました。改めて理系・文系とは何か考えてみると大学の課題があります。

河西学長：それともう一つ、本学に入学してくる学生の多くが就職をします。そのときに自分のやりたい仕事に就きたいとかこういう人生を送りたい、そういうニーズがあって、それをきちっと実現できるような進路支援を行う。

安孫子理事長：そうですね。もっとも感じるのはですね、学生諸氏は子供が大人に成長する間に大事なことってというのは、自分がどうして生まれたか、生まれてきて育てられてきて自分の人生考えたことあるって聞いたら、そんな質問されて何を答えればって言われるかもしれないけど、人生の姿を思い浮かべながら、これからずっと生きていくんだってことなので、本当はいろんな専門教育はあるけど、人生哲学っていうか、そういう話も私は大学にあってもいいと思います。それは公平で一方に固まって主義主張するのじゃなくて、もっと自分自身の人生をこれから切り開いていくために、いろんなアドバイス、考え方を伝えてあげる、そういうところが必要なのかなと。大学でもそういうことを話した上で学生も勉強してもらおうというときに、さっきの動機付けじゃないけど、その人にとっての精神的なニーズ、そういうものを一緒に育ててあげるということかな。だから先生方との交流はものすごく大事です。私は学生時代にお世話になった先生がいて仲間と一緒によく旅行して歩きましたよ。様々歩いていろんなところを見て歩いたんだけど、それぐらいの近しさがあって、いろんなことを学べるということもちょっと贅沢な悩みだけど必要ということなんです。

河西学長：前回の訪問調査では安孫子理事長に企業経営のお話をうかがいましたが、今回は教育のお話をうかがい興味深かったです。安孫子理事長のお考えを本学の教育に活かしていきたいと思います。本日はありがとうございました。



## 札幌市教育委員会と包括連携協定を締結しました

本学は11月27日（土）、札幌市教育委員会（檜田英樹教育長）との間で、包括連携協定を締結しました。本学と同じ新札幌エリアにある札幌市青少年科学館の大規模リニューアルにあわせ、最新の科学技術や研究成果の展示、講演会やワークショップ、学生ボランティアによる体験教室等を通じて、新しい科学館を盛り上げていこうというものです。この包括連携協定には学校法人滋慶学園（札幌看護医療専門学校、北海道ハイテクノロジー専門学校）、北海道ヘルスケア産業振興協議会も加わっています。調印式の中で河西学長は、「本学の知見を活かし科学的な学びの機会を提供することで、将来の日本を担う若者の育成に寄与したい」と述べました。なお、青少年科学館は本年8月に休館し、リニューアルオープンは2024年4月を予定しています。



河西学長の挨拶



左から河西学長、檜田教育長、徳田ヘルスケア産業振興協議会会長、正垣滋慶学園常任理事

## With コロナ時代の生涯学習 — 2021年度コミュニティ・カレッジ—

コロナ禍で関心が高まった人間の内面や生き方、家族や地域の再生についてユニークな講座が開講されました。心の起源を探る「近代日本における『心』の誕生」（村澤和多里）、多様なNPO活動を学ぶ「セカンドライフの生き方を考える」（佐藤隆）、地域における認知症介護の実践から学ぶ「地域でケアする認知症」（石田潔、内田香理）、また、「震災復興と地域づくり」（井上大樹、小瀧綾、井内聖）では、甚大な震災被害を受けた安平町で、町の未来づくりに奔走する若き実践家から、子育てを軸にした地域の再生についての考えと活動を聴くことができました。With コロナで生まれた新たな「気づき」にも応える講座をこれからも展開したいと思います。（ ）は講師名（敬称略）



講座収録の様子

## 心理学部・大学院臨床心理学研究科・心理臨床センター移転について

2022年4月、心理学部と大学院臨床心理学研究科、心理臨床センターが江別キャンパスから新札幌キャンパスへ移転します。

新札幌キャンパスでは2021年4月より経済経営学部、大学院地域社会マネジメント研究科の学生・大学院生が学びはじめました。これに心理学部、大学院臨床心理学研究科の学生・大学院生が加わることになり、2022年4月以降は約1700名が学ぶキャンパスとなります。

新札幌キャンパス図書館分館には、現在約7万5千冊の図書が配架されていますが、この移転にあわせて心理学を中心とする心理学部、大学院臨床心理学研究科が必要とされる約3万冊の図書が追加されます。

(新札幌キャンパス図書館分館の書架は、固定書架と電動集密書架が導入され、約11万冊の図書を所蔵することができます。)

### ▼心理臨床センター

心理臨床センターは1995年にオープンし、長きにわたって心理・教育上の問題で悩みを抱える方の相談に応じてきました。本人に限らず、家族や周りの方、学校の先生方の相談もお受けしています。また、当センターは、心理支援に関する専門職を育成する教育機関でもあります。相談を担当するのは、教員の指導を受けている臨床心理学専攻の大学院生や本学の大学院修了者、本学の教員（公認心理師・臨床心理士）、および経験を積んだ相談員です。

心理臨床センターは現在、江別キャンパスにありますが、2022年4月に新札幌キャンパスに移転します。新札幌キャンパスで新たにスタートする心理臨床センターは建物の6階に位置し、4つの面接室のほか、第1プレイルーム、第2プレイルーム、集団療法室を有しています。6階の心理臨床センターへは専用の入口とエレベーターで移動することができ、利用者にも配慮したつくりになっています。



受付



面接室



専用入口

## 公認心理師国家試験 現役合格100%

2021年9月に実施された第4回公認心理師国家試験で、大学院臨床心理学研究科修了生10名（※）が新たに合格しました。2021年3月修了の20期生は合格率100%、第1回からの合格者数は延べ108名（※）となり、道内外の心理職の現場において高い評価を得ています。（※人数は2022年1月20日大学確認分）

## 学術講演会（シンポジウム）開催

11月13日（土）に新さっぽろ脳神経外科病院、新札幌整形外科病院、記念塔病院、札幌看護医療専門学校と共催で「第46回学術講演会・シンポジウム 厚いつながりを目指して～地域×医療×教育のコラボレーション～」を新札幌キャンパス多目的ホールにて開催しました。

第1部シンポジウムでは、新さっぽろ駅周辺地区開発G・1街区構成5法人による移転後の方針および機関の特徴の紹介を行いました。第2部の質疑応答では来場者からシンポジストに対し、「現在行われている学生の活動（脳トレやAED講習）を地域活動に組み込むことは可能か」といった質問が投げかけられるなど、来場者とともに厚別区の厚いつながりを考える機会となりました。

各構成法人の建物の完成予想図や機関の概要を紹介するパネル展も本学新札幌キャンパスとサンピアザ光の広場にて同時に開催し、厚別区の方を中心に多くの皆さまにご来場いただき、盛況のうちに終了しました。



第1部シンポジウムの様子



コメントーターの本学副学長・社会連携センター長 佐野友泰教授



同時開催のパネル展の様子

## クラブ & サークル

### 陸上競技部

今年の陸上競技部は「大学三大駅伝」に当たる「出雲駅伝」と「全日本大学駅伝」の2大会への出場を果たしました。全日本大学駅伝予選会では大会記録を更新する好走をみせ、いずれの予選会も1位で本戦出場を決めました。

本戦の結果は、目標順位には惜しくも及びませんでしたが、出走メンバーの半数以上を1、2年生が占める若いチームとなっています。学年を重ねるごとにレベルアップし、数年後には過去最高チームへ仕上がっていることが期待されます。



### 弓道部

昨年より新型コロナウイルスの影響でほとんどの大会がオンライン形式となっていました。今年度オンライン設備が整ったことで、2年ぶりに全国大会へ出場することができました。8月11、12日に行われたインカレでは法律学科4年の新井田瑞希さんが個人3位という成績を納め本学初の快挙を成し遂げました。また11月20、21日に開催された王座決定戦においても団体ベスト4という成績を残し、今後の活躍にさらに期待が高まります。



### バスケットボール部 (女子)

バスケットボール部女子は全日本大学選手権ベスト8を目標に掲げ、日々の練習において「本気」にこだわり取り組んでいます。全日本大学選手権の北海道予選では10勝0敗と圧倒的な強さで2連覇を果たし、4年連続で全国への切符を手に入れました。

全国の舞台では残念ながら1回戦敗退となってしまいましたが、この悔しさを糧にまた来年に向け新体制で「本気」を見せつけてほしいと思います。



## 学科トピックス

### 臨床心理学科

#### 「心理学検定」にチャレンジ！ —3年生で特1級合格者も—

臨床心理学科では専門教育の一環として、心理学検定の受検を勧めています。2領域で各5科目あり、1級または2級（全10科目合格：特1級）を取得できます。今年度は3年生の西美沙季さんが特1級を取得し、「半年間、友人と一緒に勉強してきた成果です。友人にはありがとうと伝えたいです」とコメントしてくださいました。



### 英語英米文学科

#### 1年半の学びの集大成 —専門ゼミのレポート発表会—

12月9日（木）、眞田敬介准教授（英語学）のゼミに所属する4年生11名によるゼミレポート発表会を学内で開催。Zoomを併用したハイブリッド形式で、ゼミ生同士で助け合っていました。英語や日本語などの「ことば」に関する疑問を自分で設定し、調査・考察した成果を堂々と発表する姿に、ゼミ生の成長を見て取ることができました。



### 人間科学科

#### 民俗学のインタビュー実習

専門科目「民俗学研究法」では調査実習を行いました。班ごとにテーマを決め、参考文献を調べて質問項目を用意し、機材の扱いかたを練習してから、学生同士でインタビューしました。準備のかいもありまた久しぶりに大学で人と話す機会だったこともあってか、スムーズに調査が進みました。今後は調査内容の整理と分析を行います。



### こども発達学科

#### 初めての試み「授業づくりセミナー」を開催！

教員として活躍する卒業生と教員を目指す在学生が小学校における授業技術の向上を図るため、学科主催のセミナーを行いました。コロナ禍のため対面参加と遠隔参加を交えたハイブリッド型の研修会となりました。記念すべき第1回のテーマは「道德の授業づくりと効果的な指導方法を学ぶ」です。卒業生が教師役となり、参加者を児童役に道德の模擬授業を行い、その後、グループや全体会で反省会を行い、有意義な時間を過ごすことができました。



## 学生が主体となって学食のテイクアウト容器を回収する取り組みを実施しました

江別キャンパスの学生食堂（生協食堂）で行っているテイクアウトにおいて、使用する容器に再利用可能な「リ・リパック」を採用し、回収を実施する取り組みを行っています。

この取り組みは、学生食堂や購買を運営する札幌学院大学生生活協同組合の学生組織である札幌学院大学生協組織部が発案し行うことになりました。

テイクアウト容器の内側の汚れた表面フィルムを剥がしてゴミとして捨て、トレーを回収することで、ごみを減らすことにつながります。また、容器を洗わずにリサイクルできるため節水にもつながり、水資源も守ることができます。

私はSDGsに関心があり、コロナ禍でもできることはないかと考え今回の企画を発案しました。生協組織部の仲間や職員さんの協力を得ることで食堂にリ・リパックの回収箱を置くことができました。この活動をきっかけにリ・リパックについて知って貰えたら幸いです。これからもSDGsに関連した企画を皆で協力しながら作ってまいります。  
(人文学部人間科学科3年 朝倉 里奈)



## グローバル教育(国際交流)について

今年度も前期より、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、大学構内への入構制限はもちろん、海外協定校への派遣留学はすべて中止となり、新規入国となる外国人留学生14名についても未だ入国ができない状態が続いています。また、4月より2キャンパスでの学生生活となり、外国人留学生全体での交流企画等が実施できない状況が続いていました。

10月に緊急事態宣言が解除されたことに伴い、外国人留学生同士が交流を深められるよう、感染防止対策を徹底し、留学生全体での交流企画となる「小樽観光交流会」を開催しました。11月の開催ということもあり、天候に不安がありましたが、当日は快晴、11月とは思えない穏やかな天候に恵まれ、外国人留学生18名が参加して、小樽水族館や市街地を観光しました。水族館では様々な種類の魚を観賞するとともにトドやペンギン、イルカのショーを撮影するなど楽しみました。

その後、昼食を兼ねて小樽運河や風情のある街並みを散策し、留学生同士の交流を深めるとともに気分転換となる交流会になったものと思います。

今後も感染状況を踏まえながら、キャンパス内での交流を含めた交流企画を検討、国際交流の輪を広げていきたいと思えます。



### 法律学科

#### 就職戦線で大健闘

株式会社大学通信が発表した『2021年 学部系統別実就職率ランキング』で、本学法学部（実就職率90.6%）が法学系で全国7位にランクインし、北海道・東北地方では1位になりました。

また、2021年3月卒業生の公務員就職率（公務員就職者数÷就職者数等合計）が、33.7%となり、道内の法律系学部・学科を持つ私立大学の中で1位を記録しました。22年3月卒業生にも期待しています。



### 経済学科

#### 就業力アップをサポートしています

経済学科では、就業力（社会に出て働く力）のアップを重視した教育を展開しています。正課授業で公務員試験対策を実施するのもその1つ。また、ファイナンシャル・プランニング技能検定2級、ITパスポートなどの情報処理技術者試験、さらに「調査の専門家」社会調査士資格の取得支援など、学生の可能性を広げる取り組みを行っています。



### 会計ファイナンス学科

#### 資格取得にも取り組んでいます

会計に関する学びの延長線で、「資格取得」にも取り組んでいます。昨年は、コロナ禍の影響で予定していた指導が行き届かないこともあったにもかかわらず、今年度は学科全体で日商簿記検定2級合格者が15名、農業簿記検定で4名の合格者を輩出しました。学びの専門性を強化して可視化できるのが資格です。学生には、一層の奮起を期待します。



### 経営学科

#### マーケティング実践で京都に調査に行きました

専門科目「マーケティング実践」では11月下旬の4日間、関西での調査実習を2年ぶりに実施しました。感染予防を徹底しながら、19名の学生が「日本酒のインバウンド戦略」など5つのテーマに分かれ、神戸、大阪、京都でヒアリング調査や行動・店舗観察を行いました。大学生になって初めて学外での調査活動ができ、貴重な経験となりました。



## 教員採用試験、既卒者も含めて26名が登録

2022年度採用の教員採用試験には、北海道および札幌市に4年生から小学校10名、中学校英語1名、高等学校英語1名、特別支援学校5名の計17名、既卒者9名（小学校、中学校英語、特別支援学校）の合計26名が登録されました（2022年1月19日現在）。11月18日（木）には合格者の努力を褒め、その経験を教職課程全体のものにするために、「教職をめざす学生交流会」をオンライン開催し、情報交換を行うとともに後輩達も教員への決意を新たにしました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響から対面での指導がなかなか叶わない状況でしたが、オンライン等を活用するなど、学びを止めず、採用に向けて、日々勉強を継続しています。



## 経済経営学部特設サイト開設について

2021年4月、「経済学部」と「経営学部」を再編し開設された「経済経営学部」が新札幌キャンパスでの学びをスタートしました。『大学案内』だけでは伝えきれない経済経営学部の学びの特徴を、より分かりやすく、楽しくご覧いただけるように、特設サイトを開設しました。学部学科の特徴、教員紹介の他、新札幌キャンパス周辺のおすすめ情報や、経済学・経営学をわかりやすくキャラクターが紹介するなど、読み応えのあるコンテンツが盛りだくさんです。



経済経営学部特設サイトは、本学公式ホームページのトップページよりアクセスいただけます。

## 合同進路フェスタ開催

再開発事業が進む新札幌地区において2021年4月に本学新札幌キャンパスと札幌看護医療専門学校が同じ敷地に誕生しました。札幌看護医療専門学校（滋慶学園グループ）とは2020年8月に学術交流協定を締結し、ともに新さっぽろ駅周辺地区にキャンパスを置く高等教育機関として、双方の強みを活かし、教職員の交流による授業ノウハウの共有や学生の交流、共同研究等の実現に向けた協体制を実現していく予定です。



この協定に基づいて、10月30日（土）、高校生を対象としたイベント「合同進路フェスタ」を開催しました。専門学校と大学が1日で体験できる進学イベントは全国的にも珍しい取り組みです。開催当日の様子を振り返るダイジェスト動画をYoutubeにて公開していますので、ぜひご覧ください。



## 2021年度ふるさと江別塾がオンラインで開催されました

ふるさと江別塾は、えべつ市民カレッジの主要講座として、江別市と本学を含む江別市内4大学が共同で運営する連携講座です。今年度は「AIと人権」（石井和平方学教授）、『まさか』の災害に見舞われたとき（菊池浩光心理学部教授）の2講座を、コロナ禍の影響もありオンラインで配信する方式で開催しました。2022年度以降は、かつてのように、対面形式で直接受講できる予定です（詳細は大学ホームページ等でご確認いただけます）。

## オンライン保護者懇談会

例年、本学と地方会場にて保護者懇談会を開催していましたが、今年度はコロナ禍のため、オンラインでの開催に実施形態を変更しました。河西邦人学長からの挨拶や成績表の見方等を動画コンテンツとして用意し、また、個別面談については電話やメール相談を実施できる機会を設けました。各動画コンテンツにつきましては、本学公式ホームページにて「保護者懇談会」と検索または右のQRコードからご視聴いただけますので、ぜひご覧ください。

河西邦人学長挨拶



【札幌学院大学 Web保護者懇談会】  
▷こちらの動画は、学長挨拶です。

## 教員著書紹介

札幌学院大学選書

『臨床的作業記憶論 覚え書き  
発達障害の諸相とワーキングメモリ』

室橋春光 著

出版社：北大路書房  
出版年月：2021年9月  
I S B N：9784762831706  
定 価：7,150円（税込）  
頁：282ページ

本書ではワーキングメモリをキーワードに、理論編では脳機能との関わりについて、臨床編では発達障害の諸相を検討し障害の本質を論じています。発達障害では予測に関わる処理が現代のありかたと適合しにくくなっており、本来、人が備えていたものとは異なるかたちで社会・文化が進んできたことへの警告であるように思います。



発達障害とは何なのか？  
その科学的背景から臨床的対応まで、発達障害は、発達障害者  
本人や家族、教師、医療者、社会から多面的に  
捉えられ、理解され、支援されるべきである。本書  
は、発達障害の臨床的対応について、最新の知見を  
紹介し、臨床的対応のヒントを提供する。

『世界に学ぶ地域自治：  
コミュニティ再生のしくみと実践』

大内田鶴子、鯉坂学、玉野和志 編著  
小内純子ほか 著

出版社：学芸出版社  
出版年月：2021年8月  
I S B N：9784761527846  
定 価：2,750円（税込）  
頁：254ページ

本書では、「多様化する地域をどう再編し、安定的・開放的な地域自治組織をどうつくるか」という現代日本が抱える課題へのヒントとなるように、12人の執筆者により12の国の地域自治の取り組みが紹介されています。小内教授は第6章でスウェーデンの事例を取り上げ、「個」を基礎とするコミュニティ活動の可能性について言及しています。



## 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について

9月から10月にかけて本学 SGU ホールを会場に大学拠点接種を実施しました。これは職域接種の趣旨（ワクチン接種に関する地域の負担軽減、接種の加速化）に賛同し、また、本学の教育研究活動及び課外活動を安全かつ安心に行うため、北翔大学と共同で実施したものです。

両大学の学生、教職員、生活協同組合の職員、委託業務職員など約 3,000 名に対し、無事ワクチン接種を完了できました。

引き続き、感染対策を徹底し、学生が安心して充実した大学生活を送れるよう尽力して参ります。



## オリジナルグッズ販売について

2020年9月の大学ロゴマーク・タグラインのリニューアルに伴い、新しいブランドカラーのイエローとグレー、そしてグラフィックエレメントをあしらった札幌学院大学オリジナルグッズを江別キャンパス購買店舗（札幌学院大学生生活協同組合）にて販売しています。

第1弾として、「2色マーカー（ペン先に2種類のカラー）」、「ペン型消しゴム」、「バンブーストロー」、「バンブーボールペン」、「ミニタオル」の5点を2021年6月に販売を開始し、12月には第2弾として「マスキングテープ（2種類）」、2022年1月には第3弾として「クリアファイル」、「マグカップ」の販売を開始しました。今後もオリジナルグッズの種類を増やしていく予定です。



## 卒業生この人

落語家  
しゅんふう亭 春風亭 はくし 柏枝さん（菊池 貴紀さん）



1997年3月に本学社会情報学部社会情報学科を卒業され、2001年春風亭柳橋門下に入門、2004年春風亭柏枝（現柳橋）門下へ移籍、2005年ニツ目昇進、2014年真打昇進「八代 春風亭柏枝」襲名。落語界の第一線で活躍されている春風亭柏枝さんにお話を聞きました。

**Q. 落語家になられたきっかけを教えてください。**

これはどこからお話をすればいいのか。簡単に申し上げますと、落語という芸を生で見て一目惚れしたということになりますでしょうか。私が26歳のときでした。

**Q. これまでに経験したことで苦労したことや達成感が得られたことは何でしょうか。**

私がこの世界に楽屋入りしたのは2001年3月でした。それから現在まで、私にとってなんとと言っても大きかったのは2011年の東日本大震災でした。これは北海道胆振東部地震もそうで、「被災した方達の前でしゃべる」という意味ではどこも同じで今も日本全国の被災されて避難生活を送っている方たちのおしゃべりさせていただいておりますけれども、しかしあのときは私のキャリア的にも度々あちこち動けた時期で、おしゃべりさせて頂く機会が立て続けにたくさんありました。「もしもこの目の前の人たちが笑いたいと望むのであれば、私はそれに応えたい」と、あんなにも強く思ったことはそれまでありませんでした。とにかくいろんな意味で緊張しましたが、下手でも真正直にしゃべっていたのが良かったのか、私の落語を聞いて喜んでくれる皆さんの顔を見たときの嬉しさはたまたま良かったですね。

**Q. 札幌学院大学に入学して良かったこと、在学中の印象に残っている思い出は何でしょうか。**

私が入学したのは社会情報学部でして、この学部ができてから間もなくの学生でした。当時の学部長は田中一先生でしたが、みんな先生方は一生懸命やってくれてましてね。ところが我々学生と来たらほとんどの人が時間を持ってあまして大学に来るような人達ばかりで、田中先生なんかはいつも授業を中断しては顔を真っ赤にして学生達を怒鳴りつけてました。情熱を持ってぶつかってきてくれてたんですね。当時は遠目になんとか見ておりましたが、この世界に入ってから私も学校公演で落語をさせて頂いておまして、時々あのときの仕返しをくらいます。しかも倍返しで（笑）。大学の授業ってめちゃくちゃ面白いことに卒業後に気付くんですよ。このことをこう考えるか〜みたいなたくさんの新しい発見があって。もったいないことしましたね。

**Q. 後輩である現在の学生達にメッセージをお願いします。**

現在はコロナ禍で何をやるにもやりづらさを感じる世の中ですが、東日本大震災のときに思ったんですよ、普段から目の前のことをしっかりやるって意味があるなって。感染症対策という行動制限の中で、青春の火をコロナ禍以前よりもより一層燃やし、何かに一生懸命打ち込んでもらいたいです。そうすればきっと、将来大学のときの仲間と一緒に飲むお酒が、より一層美味しくなると思いますよ。皆さんの活躍、期待してます。

# Information

## 学位記授与式の挙行について

2021（令和3）年度 学位記授与式を下記のとおり挙行します。  
 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため卒業生・修了生のみ参加とさせていただきます。どうぞご了承下さい。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止となる場合もあります。その場合は、本学公式ホームページ等でお知らせいたします。

〈日時〉2022（令和4）年3月18日（金）  
 〈式場〉札幌学院大学 江別キャンパス G館 SGU ホール

10時 開式			
大学院 法学研究科	法学部 法律学科		
大学院 臨床心理学研究科	人文学部 臨床心理学科		
心理学部 臨床心理学科	大学院 地域社会マネジメント研究科		
12時 開式			
人文学部 人間科学科	経済学部 経済学科		
14時 開式			
経営学部 経営学科	経営学部 会計ファイナンス学科		
人文学部 英語英米文学科	人文学部 こども発達学科		

## 教育研究振興寄付のご協力に深く感謝・芳名

本学へ寄付のご協力をいただき、心より御礼申し上げます。  
 ご寄付いただきました方々への感謝を込めご芳名を掲載させていただきます。  
 ■ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが、財務課寄付金担当までご連絡ください。(011-386-8111)

寄付者・ご芳名（掲載承諾者・敬称略・五十音順）2021.6.1～12.31【個人】

天坂 聡信	大畑 輝義	白石 英才	寺本 忠雄	中村 秀則	堀内 高	山田 節子
伊佐 均	笠木 康弘	新谷 正芳	中井 敏勝	夏原 博	松本美智子	山元 智和
市村 隆行	河西 邦人	菅原 秀二	中川 昭五	鍋山 敏文	光武 幸	山家 久男
稲垣 淳	木下 賢治	杉井 西子	中河裕美子	樋口 隆博	村松 健二	横山 末雄
稲場 寛	小坂亜紀子	高橋 宏司	中西 宏明	福元 美佳	山内 清司	ほか匿名35名様
岩田 利康	今野 寿幸	谷口 義秋	中野 定信	藤井 静子	山内ひとみ	
大西 勲	坂井 悦子	玉木 博	中村 誠司	古川 信一		
大橋 悦子	島田 義田	千葉 博幸	中村 英夫	細田 洋介		

※受配者指定寄付をのぞく

## 教職員人事

### ■採用（2021年11月1日付）

学生支援課 秋月 倫 (事務職員)	図書課 富樫ふゆ子 (専門職員)
-------------------------	------------------------

図書課 片山 圭 (契約職員)
-----------------------

### ■異動（2021年11月1日付）

財務課長 鹿内 万敬 (総務課 財務係長)
財務課 財務係長 須貝 恵一 (学生支援課 学生係長)

### ■退職（2021年12月31日付）

広報入試課 契約職員 福司 選手
------------------

以上

## 2022年度 大学行事等予定

【前期】	【後期】
3月28日(月) 在学生健康診断(新札幌)	9月20日(火) 後期授業開始
29日(火) 在学生健康診断(新札幌)	24日(土) 大学院第1期入試
30日(水) 在学生ガイダンス(2・3年)・在学生健康診断(江別)	29日(木) 前期末学位記授与式
31日(木) 在学生ガイダンス(4年)・在学生健康診断(江別)	10月8日(土) リフレクション入試面接(本学)
4月1日(金) 入学式(札幌コンベンションセンター)	15日(土) 保護者懇談会(本学)
2日(土) 新入生ガイダンス	22日(土) 編入学試験(A日程)
4日(月) 新入生ガイダンス	11月5日(土) リフレクション入試(面接重視型)
5日(火) 新入生ガイダンス、新入生健康診断	26日(土) 学校推薦型入試
6日(水) 新入生ガイダンス、新入生健康診断	27日(日) 学校推薦型入試
7日(木) 前期授業開始	12月17日(土) リフレクション入試(自己PR)
6月15日(水) 学園創立記念日	1月7日(土) 英語プレースメントテストII
25日(土) 大学祭	14日(土) 大学入学共通テスト
7月30日(土) 前期定期試験	15日(日) 大学入学共通テスト
8月1日(月) 前期定期試験	25日(水) 後期定期試験
2日(火) 前期定期試験	26日(木) 後期定期試験
3日(水) 前期定期試験	27日(金) 後期定期試験
4日(木) 前期定期試験	28日(土) 後期定期試験
5日(金) 前期定期試験	30日(月) 後期定期試験
6日(土) 大学院臨床心理学研究科特別選抜入試	31日(火) 後期定期試験
22日(月) 夏期集中講義期間(前期科目)	2月3日(金) 一般入試A
~27日(土)	4日(土) 一般入試A
27日(土) 保護者懇談会(旭川)	11日(土) 大学院第II期入試
28日(日) 保護者懇談会(北見)	22日(土) 卒業発表
9月3日(土) 保護者懇談会(帯広)	25日(土) 転学部・学科試験
4日(日) 保護者懇談会(釧路)	3月4日(土) 編入学試験(B日程)
5日(月) 秋期集中講義期間(後期科目)	8日(水) 一般入試B・リフレクション入試
~10日(土)	17日(金) 学位記授与式
10日(土) 保護者懇談会(函館)	
11日(日) 保護者懇談会(青森)	

※なお、変更が生じた場合は、大学ホームページにてご案内します。

## 【入試情報】大学進学セミナー

進路選択、進学準備を整えるきっかけづくりを目的に、道内主要都市および東北地方にて、「大学進学セミナー」を開催します。

大学進学セミナーでは、学部学科の学び、入試制度、学生生活、資格・就職、奨学金、一人暮らしなどについて専門スタッフがご案内しています。

日程	開催地	日程	開催地	日程	開催地
6月21日(火)	室蘭	9月24日(土)	旭川	10月1日(土)	函館
7月24日(日)	八戸	9月25日(日)	北見	10月2日(日)	青森
7月25日(月)	盛岡	10月1日(土)	帯広		
7月26日(火)	秋田	10月2日(日)	釧路		

※開催時刻、会場などの詳細は決定次第、本学公式ホームページでご案内します。

## 【入試情報】オープンキャンパス

日程	内容
3月19日(土)	【サツガク入門】
6月11日(土)	【リフレクション・推薦入試説明会】
7月17日(日)	【学びLIVE!】
9月18日(日)	【推薦入試対策講座】
12月3日(土)	【サツガク模試】
2023年3月21日(火・祝)	【サツガク入門】

なお、大学進学セミナーやオープンキャンパスなど今後のイベントにつきましては、新型コロナウイルス感染症の情勢により、延期や中止、オンライン開催など変更が生じる場合があります。最新情報につきましては本学公式ホームページをご確認ください。

### SNS情報

**Instagram**



**Pick Up!**  
Instagramの投稿の一部をご紹介します!

#夜のキャンパスの風景



#英語の授業



#江別キャンパスは自然豊か



#大学シャトルバス



Facebook



twitter



YouTube

